

地域相談支援フォーラム公開セミナー
東海北陸ブロック
2013年10月19日(土)
名古屋国際会議場

地域でがん患者その家族を支える フォーマルおよびインフォーマルサポートの輪

愛知県がんセンター愛知病院
看護部 外来看護師
THP:Total Health Planner
緩和ケア・乳腺サロン担当
ボランティアコーディネーター
渡邊 様子



愛知県がんセンター愛知病院

昭和29年11月 県立愛知病院として開設

平成17年4月 愛知県がんセンターと組織統合

平成18年4月 緩和ケア病棟（院内型、20床）開設

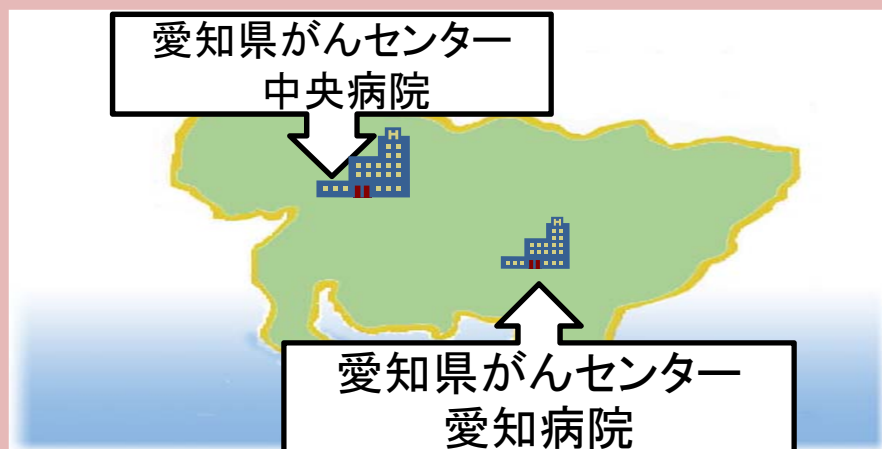
平成20年11月 緩和デイケア（試行開始）

平成21年4月 緩和デイケア開設（1回/w 木曜日午後）

平成21年7月 緩和デイケア会場変更⇒診療棟2階患者サロン開設

平成22年6月 乳腺サロン試行 10月実施

病床数：276床（一般 /200 緩和 /20 結核 /50 感染症/ 6）



WHOの緩和ケアの定義 (1989年)

緩和ケアとは、治癒を目指した治療が有効でなくなった患者に対する積極的な全人的ケアである。痛みやその他の症状のコントロール、精神的、社会的、そして霊的問題の解決が最も重要な課題となる。緩和ケア目標は、患者とその家族にとってできる限り可能な最高の QOLを実現することである。末期だけでなく、もっと早い病期の患者に対しても治療と同時に適用すべき点がある。

(2002年)

生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処(治療・処置)を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティ・オブ・ライフを改善するアプローチである。

岡崎市の現状

- 人口 378,516人
男191,1045人、女187,471人
(平成25年6月1日)
- 総死亡 2,688人
毎年800名余ががんにより死亡
当院でのがん看取り数 316名
緩和ケア病棟での看取り数 216名
(平成24年)
- 岡崎市の一般病床数 1351床
人口10万人当たり361.6床
全国平均712.2床
愛知県平均551.3床
全国の政令市、中核市の中で最少
(平成21年地域医療保健基礎統計)

多死時代に向け,病床数不足対策が急務



緩和デイケアの活動

目的： がんと診断された患者とその家族が住みなれた
自宅での生活がその人らしく送ることができる援助を行う

開催曜日： 毎週木曜日 13:00～16:00

対象者： がん種・ステージを問わない
患者とその家族(家族のみの参加は不可)

ケア内容： ①患者及び家族の社交(交流)
②不安の傾聴
③傾聴によって得られた情報への必要な支援
④気がかりや辛さへの対応

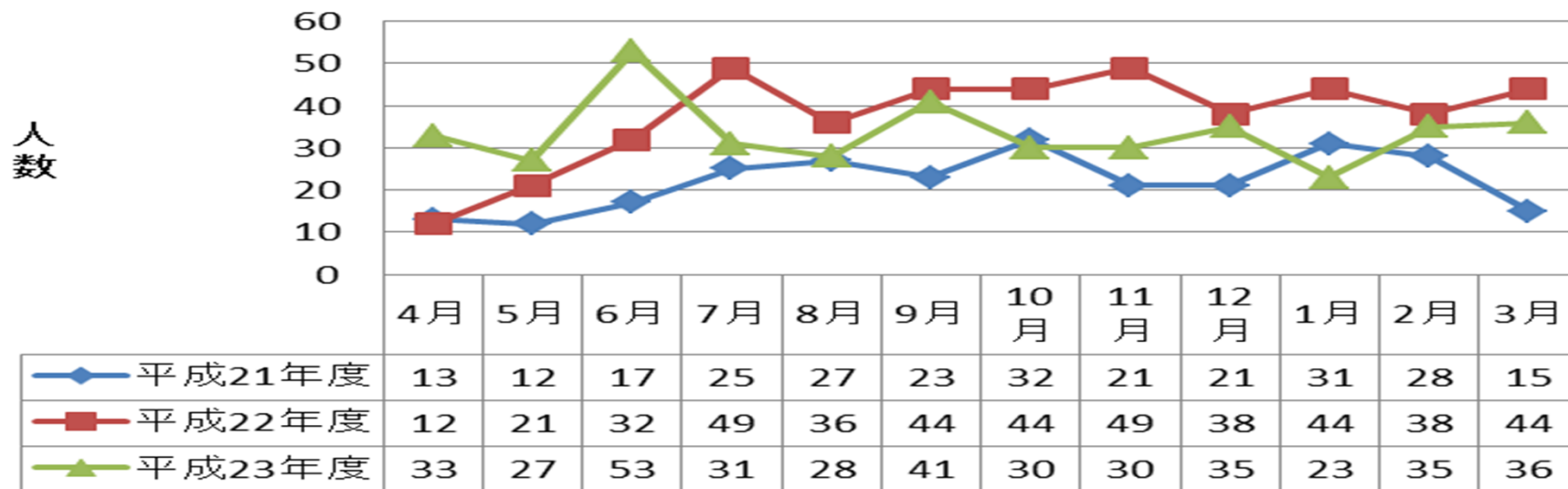
方法：・グループケア
・個別相談



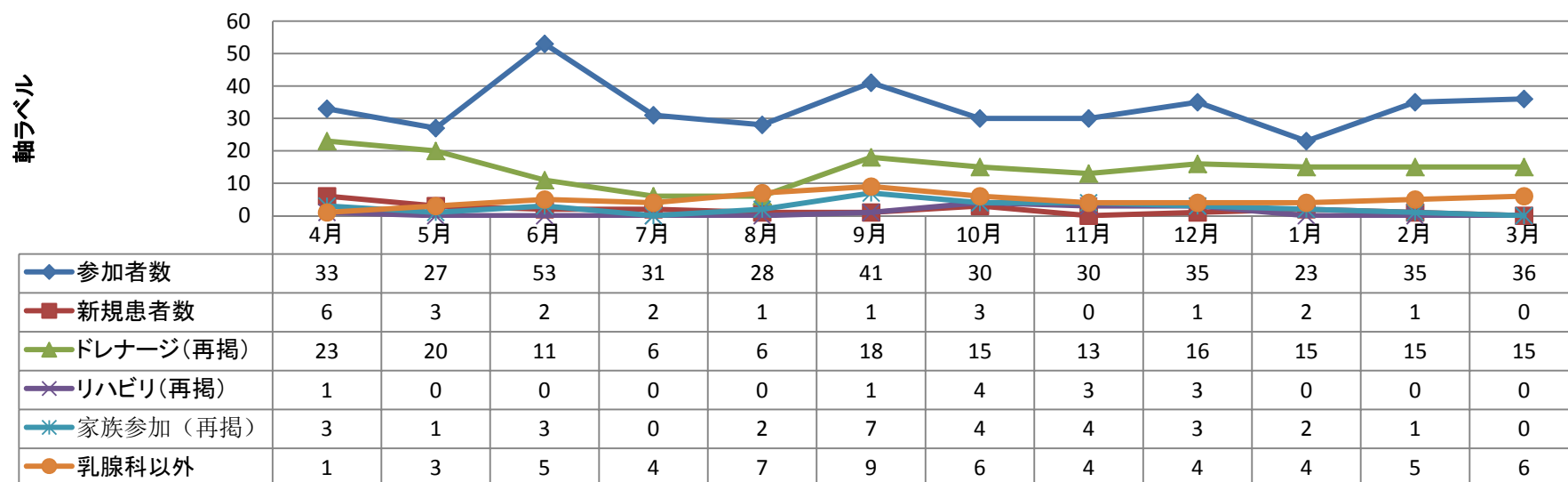
サポートスタッフ

職種	役割	人数
緩和ケア科医師(常勤)	診察:参加の可否を判断	1名
緩和ケア医(非常勤)	フロアーサポート・個別相談・傾聴	1名
名古屋大学准教授(看護師)	スーパーバイザー(1/月)	1名
緩和ケア認定看護師	緩和ケア相談 リンパドレナージ	1名
外来看護師	診察援助・フロアーサポート	1名
手術室看護師	フロアーサポート(1/月)	1名
緩和デイケア担当看護師	運営・企画・フロアーマネージメント ボランティアコーディネート	1名
専門職:交代 薬剤師 栄養士 医療ソーシャルワーカー 理学療法士	薬剤相談・副作用相談 栄養相談 制度利用・経済的相談・復職支援 リハビリ相談	各1名
ボランティア	環境整備・ティーサービス・創作	2~3名

緩和ケア参加者数経年比較

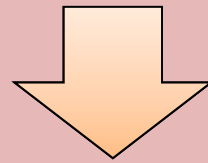


H23年度緩和ケア(木)参加者内訳



折り合いをつける援助

- 1.患者家族の抱えている今の思いを傾聴
- 2.抱えている思いの中にある、「気がかり」や「こだわり」を共有
- 3.「気がかり」や「こだわり」による日常生活の支障を把握
- 4.「気がかり」の解決にむけた多職種協働の支援
- 5.自らができることへ目を向けることをサポート
6. 患者自ら「がん」と共に生きる力を持っていることを信じる



本来の自分らしさ
本来の生活
当たり前前のことを当たり前前に行える喜び

利用者の状態悪化時の対応

- 病状悪化時:主治医受診
- 症状悪化時:主治医受診→緩和ケア外来
- 生活上の困難さがある時:在宅支援の検討
- 本人に行っていただくこと
 - ・家族へ支援依頼
- 緩和デイケアスタッフが行うこと
 - ・患者自身が感じている今後の生活への見通しの把握
 - ・上記に伴う在宅支援導入計画
 - ・介護保険について情報提供
 - ・包括支援センターの紹介
 - ・訪問看護ステーションの紹介
 - ・調剤薬局による訪問薬剤指導の紹介



緊急受診医療
機関確認

フォーマルサポート

公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援を指す

例えば

- 介護保険(介護予防)サービス
- 介護保険外の行政サービス
- 医療・保健サービス、
- 地域包括支援センターや社会福祉協議会の支援
- 非営利団体(NPO)などの制度に基づくサービスなど

介護保険制度発足以前

- 社会福祉援助が行政の措置によるフォーマルサービスに限定

現在

- ケアプラン(居宅サービス計画)にフォーマルサービスだけではなく、利用者本人や家族、地域などの支援(インフォーマルサービス)を取り入れていくことや、フォーマルサービスとインフォーマルサービスの一層の連携と協力が推進されている

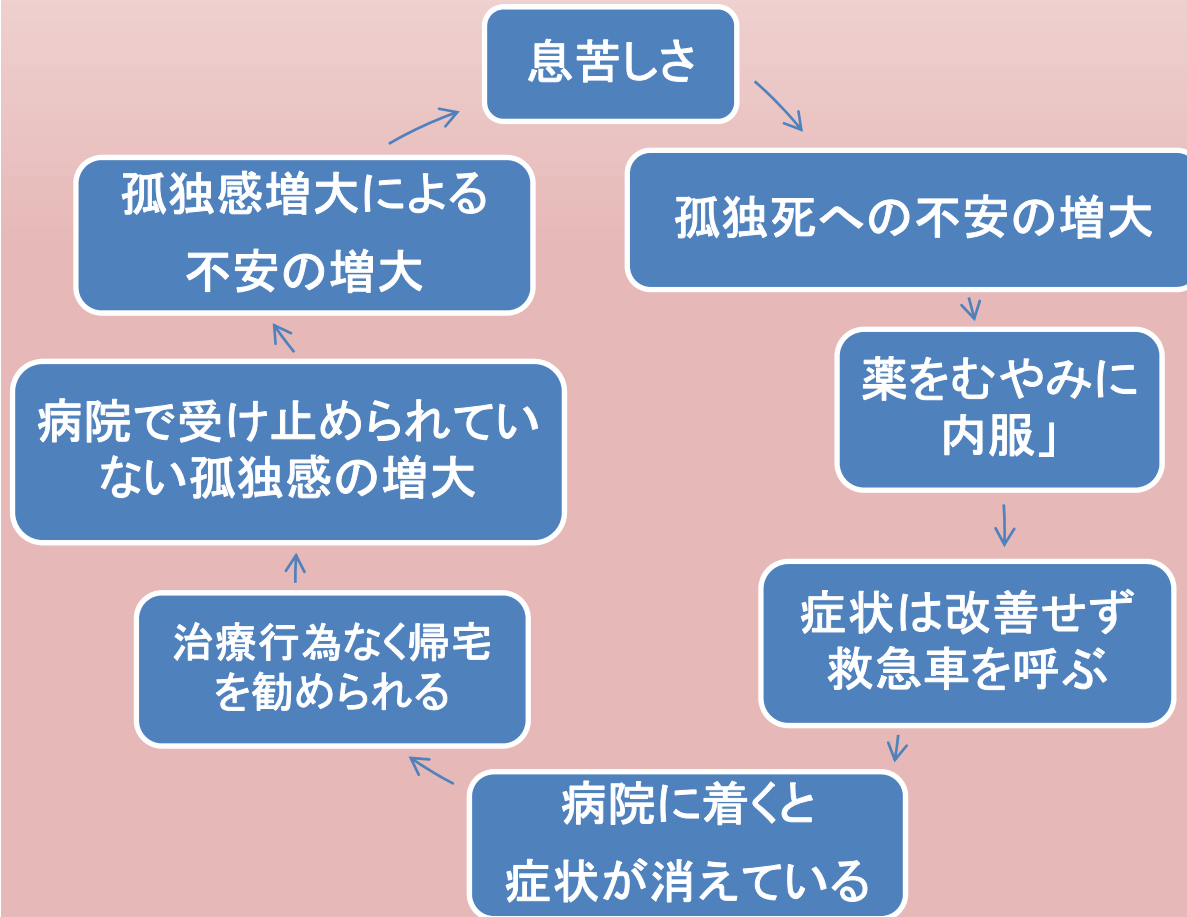
インフォーマルサポート

- 公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援（フォーマルサポート）以外の支援
- 家族(同居・別居・血縁有無・入籍の有無など)
- 近隣
- 友人
- 民生委員
- ボランティア
- 宗教関係者
- 非営利団体(NPO)などの制度に基づかない援助

緩和ケア利用患者事例-1

- A氏 甲状腺腫瘍術後 気管切開 自己吸引
- 60代 男性 1人暮らし 主治医:他院

デイケア利用歴2年8か月



話し相手の確保
自宅での生活改善の提案

薬剤師と薬の飲み方と薬の
効果について話し合い

定期薬の内服・頓服利用の
理解

介護保険による
ヘルパーの清掃

締め切っていたカーテンを毎
日開け、換気をする生活

現在のA氏のサポート状況

- 主治医病院
- 当院緩和デイケア
- 緩和ケア科医師
- 緩和デイケア看護師等
- 専門職種

- 地域包括支援センター
ケアマネージャー
- ヘルパーステーション
- 調剤薬局薬剤師

把握できているインフォーマルなサポート

1. 市内在住の2人の娘さんの電話やメール、1/1~2月の訪問
2. 体調が良い時モーニングで利用する喫茶店の店主やおなじみさん
3. 散歩時に会う顔なじみの方との語らいの時間

平成26年度地域緩和ケアセンター(仮称) 開設に向けて

- * 地域緩和ケアサポートチームの活動の普及・充実
(在宅専門医師訪問、専門看護師訪問)
- * 緩和ケア外来機能の充実(毎日診察)
- * 緩和デイケア(毎日・朝から夕までオープン)
 - ・院内スタッフへの継続した啓蒙
 - ・提供するケアの質の評価
 - ・利用者の個別性に応じたケアプログラムの充実
- * 教育研修機能(医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー・ボランティア等)



参加者の皆さまと考えたい事

1. インフォーマルサポーと提供者の把握の工夫
2. インフォーマルサポーと提供者との情報共有
3. フォーマルサポートチームとインフォーマルサポーターとの連携
4. 医療機関との連携で感じること

ご清聴ありがとうございました

